

施設名 福井市東山健康運動公園

所在地	福井市寮町50-5
所管所属	建設部公園課

1 指定管理者の概要

名称	公益財団法人 福井市ふれあい公社	代表者	西行 茂
所在地	福井市日之出4丁目3-12		

2 指定管理期間

令和3年4月1日～令和8年3月31日（第4期目）

3 施設の利用等の状況

	(H17年度) 導入前年度	第1期目	第2期目	第3期目	第4期目				
		H18～22年 (平均)	H23～27年 (平均)	H28～R2年 (平均)	R3年度 (16年目)	R4年度 (17年目)	R5年度 (18年目)	R6年度 (19年目)	R7年度 (20年目)
利用者数 (人)	82,796	121,587	137,394	125,234	101,920				
前年度比 (人)					30,174				
前年度比 (%)					42.1				
利用料金 (千円)		49,657	56,894	52,364	46,512				
前年度比 (千円)					15,070				
前年度比 (±%)					48				

4 指定管理料の状況

第4期目	R3年度 導入16年目	R4年度 導入17年目	R5年度 導入18年目	R6年度 導入19年目	R7年度 導入20年目
指定管理料	154,428千円				

5 要求基準と達成状況（進捗状況）

要求基準	達成状況
利用者数 140,000人	令和3年度 年間利用者数 101,920人 (達成率72.8%)
健康づくりの情報を市民に周知し、意識啓発する事業を行う。	・生活習慣病予防講座、健康維持・増進講座、介護予防講座(岡保デイ含む。)、生きがいきり講座、プールレッスン等の開催 48講座 1,660回 35,476人 ・指定運動療法促進事業の開始(7月～) 8名利用、延べ利用回数 119回 ・ホームページ、QRコードの活用、館内での掲示及び公共施設等へのチラシ設置等による健康づくりの情報発信

6 利用者から寄せられた苦情・意見等及びその対応状況

○ 新型コロナウイルス感染防止対策について

内容：講座・レッスンの受講は、会場が狭く、ソーシャルディスタンスが不十分である。

対応：国や県の指針を踏まえ、適切なソーシャルディスタンスが確保できるよう、スタジオでの講座を2階の観覧席で行うなど、会場や定員の見直しを図った。また、換気設備の増設も図り、安全、安心を提供できるように努めた。

内容：プールフリーコース内を歩行する利用者が大声で会話をしているが、監視員の注意喚起が不十分である。

対応：都度、利用者には密にならないように注意、説明した。特にプールフリーコースで、話しながらウォーキングしている利用者には、感染症対策（密にならない、話しながら歩かない等）注意喚起放送を毎時1回（混雑する時間帯は30分1回）に増やすと共に監視員の注意喚起も行って、施設利用の安心感を高めた。

内容：サウナの利用を再開してほしい。

対応：サウナ室内が狭く換気設備がないことから、利用を中止していたが、感染拡大の状況や類似施設の状況を慎重に検討し、7月26日から定員3名で、水風呂を含めて運用を再開した。

○ 施設の利用について

内容：2か月定期券の廃止と1か月定期券の値上げが不満である。

対応：光熱水費の値上げや施設の老朽化による経費の増加及び類似施設の定期券の状況調査を踏まえ、改定に至ったことを説明し、理解を得るよう努めた。

内容：長靴の履き間違いがあった。

対応：長靴はクリップ止めして記名できるようにし、長靴を置く靴皿を配置して間違いをなくし、衛生的にも使用できるよう整備した。

7 利用促進等に向けた取組みの実施状況

計 画	実 施 状 況
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 講座案内やウォータースライダーの運行ポスター、チラシ等にQRコードを掲載し検索性を高めた。 チラシ等を医療機関や道の駅等7か所に設置するほか、フリーペーパー（ファミリー、fu）やホームページ、広報ふくいを活用して情報発信に努めた。
講座内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の要望に応え、職員ショートレッスンの開催数を大幅に増やした。 地元地区からの要望を受け、各集落センターにて自治会型デイホームの体操指導を行った。
利用促進	<ul style="list-style-type: none"> 6月に厚生労働省の指定運動療法施設認定を取得し、7月から事業を開始した。 最新のトレーニング機器を導入し、利用者にあった機器の効果的な利用方法の指導を行った。 最新の血圧計と体組成計（インボディ）を導入し、詳細な測定データに基づく運動メニューや食生活の改善点などのアドバイスを行った。 健康相談室やトレーニングルームで、利用者からの健康に関する不安や疑問を常時受け付け、専門的見地からアドバイスを行うことで健康的な生活習慣の定着を図った。 館内掲示板に生活習慣病予防のための運動や食生活に関する情報を掲示し、健康意識の高揚を図った。 受講しやすいレッスン（ショートレッスンや100円レ

計 画	実 施 状 況
	<p>ッスン)を午前中に充実させ、利用者へのサービス向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設利用者対象に施設全般についてのアンケート調査を実施し、利用者ニーズを的確に把握することに努めた。 講座参加者を対象としたアンケートを実施し、講座の告知や申込み方法、講座の内容等の意見を集めた。その結果を分析して、今後の改善点を話し合い、書類の整備や手続きを明瞭化し、春の講座の受付方法に反映した。
地域のスポーツ推進・人材育成支援	<ul style="list-style-type: none"> 50mプールを市内外の競技団体や障害者団体の練習の場として提供した。
学習の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> 小学生の校外学習を受け入れ、クリーンセンターの熱源の有効活用や施設の概要について説明した。

8 施設、設備の維持管理の状況

項 目	実施状況及び確認方法
保守点検、運転、監視業務	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）
清掃業務	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）
保安警備業務	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）
備品管理	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）
小規模修繕	事業計画に沿って実施されている（月次報告及び現地確認）

9 指定管理者のコメント

今年度の利用人数は、101,920人で、前年度71,746人に対し、30,174人増(42.1%増)となっているが、新型コロナウイルスの影響のない元年度の138,008人に対しては、36,088人減(26.1%減)と下回り、要求基準の達成率は72.8%となった。利用料収入は、46,512,709円で、前年度31,442,083円に対し、15,070,626円増加、元年度59,326,320円に対し12,813,611円減少した。

利用者の内訳をみると、元年度では大人の利用が50.7%で、高齢者の利用が34.7%となっているのに対し、今年度については大人の利用が44.4%、高齢者の利用が41.8%となり、大人の利用の落ち込みが大きい状況となっている。原因として、コロナ禍で外出の自粛を行う等行動パターンが変わったこと、また、24時間営業の類似施設が増えたことなどが考えられる。

自主事業については、検温・消毒の実施や健康チェック表の記入などの感染症対策を徹底して行い、安心感を持って受講できるように実施会場や定員の見直し等の対策を講じて実施し、健康づくりに取り組んだ。また、単発講座を増やすなど、利用者の要望により講座内容の見直しを図った。イベントについては、芝ヨガイベントの参加は34人で、雨天により2階観覧席で開催した。新春イベントの参加は69人で、ボディメイク講座を2部制に分けて開催した。健康フェアの参加は延175人で、健康相談、インボディ測定、血中ヘモグロビン濃度測定やプチ座学&水中運動を実施した。いずれのイベントも参加者より好評を得た。また、健康フェア開催に合わせてパッチワーク展を開催し、講座生の創作意欲の向上や新規者獲得に繋がった。職員の展示コーナーも設けて、利用者との信頼関係が築けるようにコミュニケーションづくりにも努めた。

6月には新たに指定運動療法施設として認定を取得し、7月から運動療法の事業を開始した。館内掲示のほか、広報ふくいや情報誌への掲載、チラシや運動療法を掲載した新規作成のパンフレットの配布を行った。各講座の受付時には広報活動として、受講者に丁寧な説明を行い運動療法の周知に努めた。また、問合せや相談に円滑かつ的確に対応できるように職員ミーティングでの情報共有も行った。現在8人の利用者が運動を継続しているが、今後もさらなる利用者の獲得に向け、周知・広報して拡大していきたい。

ウォータースライダーについては、小中学校の夏季休業期間の短縮がなかったため、7月21日から8月26日までの37日間運行した。8月後半は天候不順により休止することもあったが、万全な監視

体制で安全な運行を行った。延べ7, 807人の利用があり、家族連れの利用増加につながった。

岡保地区の自治会型デイホーム事業への職員（健康運動指導士）による出前講座は、感染症拡大等により5月、7月、9月が中止となり、9回で150人が参加した。また、8月中は、昨年に引き続き岡保地区の東山観光協会による写真展を館内ラウンジにて開催し、地域の福祉や文化事業に協力した。

施設・設備の老朽化については、総合点検の実施により異常や破損の早期発見及び職員間の情報共有による経過観察の強化に取組み、安全・安心を第一に管理運営に努めた。

福井市新ごみ処理施設整備工事については、令和3年10月から着工し、福井市東山運動公園敷地の一部が施工範囲となるため、都度打合わせ等を行い市との連携に努めた。

新年度では、更に健康づくりの拠点として事業の推進を図り、施設や講座の周知活動を強化し、利用者の増加に努めていきたい。指定運動療法施設の認定を受け、順調な推移の運動療法についても、2年目としてさらに効果的な周知活動に取組み実施していきたい。今後も感染症の状況に応じて対策を行い安全、安心を確保し、利用者サービスを重視した良心的で効率的な管理運営に努めていく。

10 所管所属の所見

新型コロナウイルス感染症拡大による利用者数、利用料収入の減少はやむを得ない状況である。感染の心配による利用を控える動きもあったと思われたが、施設としては感染拡大防止のために徹底した対策を行っていただき、利用者の安全・安心な利用に寄与した点を大いに評価できるものとする。

日常的、定期的に施設内外の巡回を行い、事故や犯罪を未然に防止するように努めていることや、協定書に定められた協議事項について、適切に協議が行われていることも評価したい。

利用者アンケート等からサービスに係る課題を抽出し、課題への対応策を講じる取り組みのほか、利用拡大に向けた取り組み、効率化の推進などに係る創意工夫への積極的な姿勢が見られた。

また、アンケートの結果を見ても、施設の安全性や衛生面、職員の対応について、利用者から高く評価をされていることから、日頃から丁寧な対応を心掛けていることが伺える。

新型コロナウイルス収束の目処が立たず難しい面もあるが、SNSをはじめ情報発信等の取組を進め、集客向上を目指してほしい。

引き続き施設の維持管理、感染拡大防止のために徹底した対策を行っていただき、利用者が安全・安心に利用できるよう努められたい。

モニタリング評価シート

評価項目	視点	評価		方法	採点理由
		指定管理者	所管所属		
(1) 管理運営					
(ア) 維持管理業務	保守管理 ・清掃、法令点検の確実な実施	5	5	・点検名、実施回数等のリストの確認 ・関係書類の確認等	6月23日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	保安業務 ・保安警備の実施状況	5	5	・機械警備についての確認 ・職員による巡回警備の確認等	6月23日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	備品管理 ・適正な備品管理、台帳の整理 ・市の備品と指定管理者の備品の区分け	4	4	・現地調査で台帳と照合等	6月23日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(イ) 運営業務	利用時間や休館日の設定状況 ・条例に基づいた営業内容か	5	5	・業務日報等の確認等	6月23日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
	受付・承認・利用料金の收受と管理 ・一連の事務の適正な実施	5	5	・関係書類や現地調査により確認等	6月23日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(ウ) 報告業務	事業報告書や収支計画書等の提出状況 ・適正な時期、内容での提出	5	5	・関係書類の確認等	6月23日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(2) サービスの内容					
(ア) 利用促進の取組	PR活動の推進 ・市政広報やマスメディアの活用 ・ターゲットを絞ったPR	4	4	・関係書類の確認等	積極的に情報発信に努めている。
	他施設や地域との連携 ・地域住民との交流 ・地域性を活かしたイベントの開催	4	4	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	地区のデイホームに職員を派遣し、講座を実施している。
(イ) サービス向上の取組み	利用者アンケートの活用 ・アンケートの積極的な実施 ・利用者の声の施設運営への反映	4	4	・関係書類の確認等	満足度調査と分析を行っている。
	自主事業の実施状況 ・自主事業の積極的な実施 ・新規プログラムの開拓	5	5	・事業報告書の確認等	コロナ禍においても、各種企画を積極的に実施している。
(ウ) 要求基準の達成状況	あらかじめ設定した数値目標の達成度 ・利用者の増減等	3	3	・事業報告書の確認等	目標には達しなかったが、コロナ禍でも利用者が増加している。
(エ) 応募時の提案事項の実施状況	提案事項の実施状況 ・提案事項の確実な実施	5	5	・事業報告書の確認等	提案事項を計画立てて、実施している。
(3) 安定性					
(ア) 管理運営体制	職員の配置状況 ・正職員とアルバイトの配置バランス ・有資格者の配置バランス ・有資格者の適切な配置	3	3	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	職員を適切に配置している。
	労働関係法令の遵守 ・適正な労働条件、環境 ・休日の適正な付与	4	4	・関係書類の確認等 ・業務日報等の確認等	労働関係法令を遵守している。
	職員の資質向上の取組み ・定期的な研修の実施	4	4	・関係書類の確認等	職員の資質向上の研修を定期的に行っている。
(イ) 法令等の遵守 個人情報管理状況	・法令等に沿った管理運営 ・個人情報に関する研修の実施 ・マニュアルの有無	4	4	・関係書類の確認等 ・マニュアルの確認等	個人情報保護に関するマニュアルを備えている。
(ウ) 安全・衛生対策	・安全・衛生面への配慮 ・事故防止対策の有無 ・AEDの適正な管理 ・食中毒防止のための対策	5	5	・現地調査で施設の確認 ・職員へのヒアリング等	事故の予防や新型コロナウイルス感染症拡大防止に積極的に取り組んでいる。
(エ) 危機管理対策・緊急時対策	・緊急時(災害等)の対応ができる体制の整備 ・マニュアルの有無	5	5	・関係書類の確認等 ・マニュアルの確認等	危機管理マニュアルや連絡体制を整備している。
(4) 収支状況					
(ア) 経理処理状況	・一つの口座での会計 ・適正な内部監査体制	4	4	・会計帳簿と金融機関口座の照合 ・監査結果の確認等	6月23日確認 (提出書類・施設据付帳簿)
(イ) 経費縮減の取組状況	・光熱水費の削減 ・再委託費の適正な水準	5	5	・関係書類の確認等 ・職員へのヒアリング等	6月23日確認
合計		88	88		
割合(合計/100点満点)		88%	88%		